

学生による授業評価報告書

平成27年度

8つのアート1つのハート



日本大学芸術学部FD委員会

FD 活動とシラバス・授業方法の改善

学生による授業アンケート結果の報告書は今回で 11 回目となります。今回は専任教員 104 名の 112 科目、非常勤講師 430 名の 432 科目について、延べ 12,628 のアンケートに対して集計を行いました。授業アンケート結果から見えてくることは様々ですが、2015 年度の総合集計表によると、今回も概ね良好です。

昨今は、一般入試や推薦入試に加えて、AO 入試、外国人留学生入試など、選抜方法も多様化しており、色々なタイプの学生が入学してくる時代です。高校までの授業形態も多様化しています。さらに、文部科学省によるアクティブ・ラーニングの重要性や、自ら考える力の強化が叫ばれる中で、大学の教育も「教える」から「自ら学ぶ」へと大きな変革期を迎えています。今回の授業アンケートの結果においても、授業に関してはとても満足な状態ではあるが、授業時間外の学習についての不足が問題点としてあがっております。今後は、授業外学習についてもアドバイスが必要であると感じております。

芸術学部では「創作者を育成する」という目的からして、一方通行の授業では学生の理解度を上げ、授業へのモチベーションを維持させるのは困難です。日本大学の教育理念は「自主創造」ですが、これは大学での学習によって、学生自身が自ら考え行動できる力を育成することを目的としています。そのような観点から考えると、芸術学部では、かねてから当たり前のように「自主創造」の教育を実践していますが、その充実のためには、授業内容に関して教員の更なる熱意・創意工夫が必要不可欠です。

FD 活動は学生によるアンケートの結果をいかに授業の改革・改善に役立てるかというのが本来の目的です。日本大学では、全学部合同の学生参加型 FD 活動の一環として「日本大学 学生 FD CHAmmit」が開催されています。これは全学部から選出された学生と教職員が一同に集結し、授業や大学での生活の質の向上を議論し合う良い機会となっています。また、教員側も、「新任教員 FD セミナー」や「初年次教育セミナー」が日本大学本部で開催されており、大学の教員として質の高い授業を提供できるように工夫されています。最近では、ICT を活用した FD セミナーも充実しており、全国私立大学 FD 連携フォーラムのオンデマンド講義を提供するなど、日本大学全体で教育の質の向上を目指しております。これらの取り組みは日本大学 FD センターが主体となっており、本部のホームページでは、これまでの活動報告や、FD セミナーのビデオ記録なども公開されています。

芸術学部でも、積極的にこれらの活動に参加し、教育活動の幅を広げていくことが求められており、学生にとってより良い授業を提供することで、日々進化する芸術学部の FD 活動を工夫する必要があるように思われます。

平成 28 年 3 月 1 日

芸術学部 FD 委員会

委員長 野 田 慶 人

I 学生による授業評価アンケート 調査の実施概要

1. 授業評価用アンケートの内容

学生に授業評価を問うアンケートは、25項目を用意した。そのうち、問1～問19までは、どの授業科目に対しても共通の質問項目とした。問20～問25の5項目については、質問票には用意されているが、各授業担当教員が自分で特別に質問したい項目があれば、質問をするオプション項目である。

あらかじめ用意した問1～問19については、その中を自身の授業姿勢、授業内容、教員、授業関係、そして日本大学全学共通の質問とした。

<自分の授業への姿勢について>	問1
<授業内容について>	問2～問7
<教員について>	問8～問9
<授業環境について>	問10～問13
<日本大学共通項目>	問14～問19
<教員オプション質問>	問20～問25

これらの質問項目に対して、回答者は5段階評価で答えるようにした。「強くそう思う」、「そう思う」、「どちらとも言えない」、「そう思わない」、「全くそう思わない」の5つの段階で評価するが、問18の「この科目を1週受けるに当たり授業以外で学修に取り組んだ時間」は「3時間以上」、「2～3時間」、「1～2時間」、「1時間未満」、「取り組んでいない」の5回答、また問19の「この科目を受けるに当たり、図書館をどのような目的で利用したか」については、「文献資料を閲覧・借った」、「予習・復習をした」、「レファレンスサービスを利用した」、「相互利用を利用した」、「全く利用していない」の5回答を用意した。

これらの質問以外に、授業科目コード、教員コード、授業の曜日、時限、回答者の学年、学科、男女別をフェイス項目として質問した。また、質問項目以外に授業に対する意見・希望があれば記入できる自由記入スペースを設けた。

詳細の質問項目および選択肢については、巻末の調査票見本を参照されたい。

2. 調査対象

日本大学芸術学部の各授業科目の受講生が対象者であるが、芸術学部専任教員および非常勤教員に調査協力をお願いをした。専任および、非常勤教員ともに、自分の授業科目の少なくとも1科目を選んで調査を実施するよう依頼し、これらの調査実施授業科目の受講生が調査対象となった。授業科目は前期のみの科目、後期のみの科目、そして通年の科目があるため、調査期間を前期と後期に2時点で実施した。実際に調査を実施したのは、前期調査期間で教員115名、117科目、後期調査期間で教員422名、427科目であり、授業受講生述べ12,628名が調査回答者であった。

調査実施教員数、科目数の学科別内訳は表1のとおりである。

表1 学科別調査実施教員数、科目数(平成27年度)

		専任教員			非常勤教員		
		実施教員	実施科目	回答学生数	実施教員	実施科目	回答学生数
前期調査期間	写真学科	1	1	48	7	7	272
	映画学科	3	3	196	6	6	112
	美術学科	2	2	13	14	14	238
	音楽学科	3	4	212	12	12	175
	文芸学科	1	1	186	1	1	39
	演劇学科	2	2	81	9	9	271
	放送学科	1	1	61	0	0	0
	デザイン学科	7	7	157	22	22	577
	芸術教養・外国語・体育	6	7	212	18	18	849
合計	26	28	1166	89	89	2533	
後期調査期間	写真学科	11	11	253	7	7	110
	映画学科	11	11	455	53	53	904
	美術学科	7	7	158	8	8	158
	音楽学科	9	12	250	76	76	865
	文芸学科	8	8	124	33	33	716
	演劇学科	9	9	281	38	38	604
	放送学科	11	11	416	39	39	846
	デザイン学科	4	4	74	15	15	179
	芸術教養・外国語・体育	10	11	298	73	74	2238
合計	80	84	2309	342	343	6620	
前期+後期の合計	写真学科	12	12	301	14	14	382
	映画学科	13*	14	651	59	59	1016
	美術学科	9	9	171	22	22	396
	音楽学科	11*	16	462	88	88	1040
	文芸学科	9	9	310	34	34	755
	演劇学科	11	11	362	47	47	875
	放送学科	12	12	477	39	39	846
	デザイン学科	11	11	231	37	37	756
	芸術教養・外国語・体育	16	18	510	90*	92	3087
合計	104*	112	3475	430*	432	9153	

*印は、同一教員が前期と後期の両調査期間に違う科目で調査をしている(専任2名/非常勤1名)ため、「前期」「後期」の合計値が一致しない。「実施教員数」は実数(延べ人数でない)で示している。
 ・専任教員と非常勤教員の仕分けは、年度末現在での雇用関係で仕分けた。また他学部兼任教員は非常勤教員に分類した。

<教員数、科目数のカウントについての注意>

1. 同一教員が同一の科目名で2授業以上調査している場合は、1科目としてカウントした。
2. 同一科目名でも担当教員名が異なる場合は、別科目としてカウントした。
3. 同一教員、同一科目名でも校舎が違う場合は、別科目としてカウントした。
4. 同一教員、同一科目名でも前期と後期の両調査時点で調査している場合は、別科目としてカウントした。
5. 同一教員が科目名が異なる授業で調査をしている場合は、教員数は1人であるが科目数は別科目としてカウントした。
6. 複数名教員担当のオムニバス制あるいはグループ制で行っている科目の場合は、その科目の代表教員の科目としてカウントした。
7. 学科別の振り分けは、実施科目の開講学科で振り分けた。したがって、学生の所属学科とは必ずしも一致しない。

3. 調査方法と調査期間

(1) 調査方法

調査は、調査実施教員の授業科目に対して、教員の裁量の中で次のような集団自記式調査法で実施された。

- ① 教務課で調査実施教員を確認し、登録受講生人数分の調査票（マークシート方式）を各教員に配布した。
- ② 教員は授業評価調査を下記の調査期間中の授業時間を利用して実施した。
- ③ 実施方法は、教員が受講生に調査票を配布し、質問ごとにマークするよう指示した。回答時間を10分程度とるように教員には依頼した。
- ④ 教員独自のオプション項目のある場合は、項目番号と質問内容を口頭あるいは板書にて回答をお願いした。今回オプション項目を入れて調査した教員は9名（13科目）であった。
- ⑤ 質問票は、下に「この授業に対する意見・希望があれば書いてください」と書かれた自由回答スペースがあるので、もし何か意見等があれば記入するようお願いをした。
- ⑥ 調査実施時に、教員は回答者（受講生）の回答が正直に記入できるよう配慮をお願いした。
- ⑦ 記入を終えた回答票については、教員が回収した。その場合、教員に回答内容が知られないように裏返しにして回収するように配慮した。
- ⑧ 回収票は教務課に提出し、教務課では回答票数を数え整理をした上、集計にまわした。

(2) 調査期間

前期調査期間 平成27年6月29日(月)～7月4日(土)の6日間

後期調査期間 平成27年12月3日(木)～12月9日(水)の6日間（日曜日は除く）

4. 調査集計方法

調査票には、教員名および授業科目名については、あらかじめコード化してあるので、そのコードをキーに集計を行うことにした。回収された全ての回答票は教務課に一旦集めて、それぞれの授業科目コード別に回答票枚数をカウントした。その上で、マークシートの読み取りと集計作業を外部業者に依頼した。

集計指示については、つぎのような内容で指示した。

- ① マークシートの読み取り作業後、全サンプル（全回答者）と教務課でカウントした枚数と一致するかチェックをする。
- ② 授業科目コード別にサンプルカウントをし、それが教務課の授業科目別カウントと一致するかをチェックする。
- ③ この際、授業科目コードおよび教員コードが教務課の用意したコード表以外のコードが記載されている場合はデータをダンプアウト（そのままデータを打ち出す）する。
- ④ コード違反のデータについては、個票に戻ってチェックを行い、正しいコードにインプットするように指示する。
- ⑤ 質問票にある回答マークは全てシングルアンサーであるが、マルチプル回答がなされている質問項目はすべて無回答扱いとする。

- ⑥ 集計は、授業評価項目 19 項目およびオプション項目 6 項目について、評価段階別のカウント数（人数）および百分率（%）を授業科目コードごとに集計する。
- ⑦ 段階評価のうち、「強くそう思う」、「そう思う」の<そう思う>群と、「そう思わない」、「全くそう思わない」の<そう思わない>群のカウント数と百分率も評価項目別に再集計を行う。
- ⑧ 参考データとして「強くそう思う」を 5 点、「そう思う」を 4 点、「どちらとも言えない」を 3 点、「そう思わない」を 2 点、「全くそう思わない」を 1 点した平均得点も評価項目別に算出する。
- ⑨ 集計票は授業科目ごとに A4 サイズのアウトプット表に⑥～⑧までの集計結果が入るようにレイアウトする。

以上の指示で、外部業者に集計依頼した結果、上記③の教員コードと授業科目コードが合わないデータおよび用意した教員コードや授業科目コード以外のコードが記入されていた場合は、個票にあたっては、正しいコードにインプット修正をして、集計を行った。集計された全サンプル数（総回答者数）は、12,628 名であった。

5. 集計結果の通知と報告

集計結果については、科目担当教員への結果の通知と学部および学生への公表とする。

まず、集計表が納品された後、教務課では各授業実施担当教員に、該当の授業科目集計結果表（上記⑨のアウトプット表）を厳封し通知した。この際、回答票については、「自由記述欄」をコピーして同封し返却した。

学部および学生への報告は、個別科目の集計結果については公表せず、この報告書をもって公表とする。

6. アンケート実施における守秘義務

個別の授業科目および教員の集計結果表は、授業担当教員の承諾を得ないで公表することはない。また、返却された担当教員も調査結果内容について（自由記述欄の内容も含む）の不当な口外を避けるようにしなければならない。特に、少人数クラスの授業においては、無記名回答ではあるが回答の結果から回答者の特定化が可能な場合もあるが、そのような行為をするようなことがあってはならない。担当教員が特定されたり、回答者が特定されることの無いよう十分に配慮しなければ、この授業評価調査が公平性を欠くことになり、今後の調査継続に影響するので注意を要するところである。

II. 学生による授業評価アンケート 集計・分析結果

1. 回答者の人数と内訳

平成 27 年度（2015 年度）の学生による授業評価アンケートに回答した学生の延べ人数とその内訳は以下の通りである。

アンケートに回答した学生の延べ人数は 12,628 名であった。

学生の延べ人数の所属学科別の内訳は、写真学科 1,203 名（9.5%）、映画学科 2,113 名（16.7%）、美術学科 911 名（7.2%）、音楽学科 1,949 名（15.4%）、文芸学科 1,363 名（10.8%）、演劇学科 1,704 名（13.5%）、放送学科 1,772 名（14.0%）、デザイン学科 1,550 名（12.3%）、無記入 63 名（0.5%）となっている。

延べ人数の学年別の内訳は、1 年生 4,305 名（34.1%）、2 年生 3,141 名（24.9%）、3 年生 3,681 名（29.1%）、4 年生 1,374 名（10.9%）となっている。学年に関して無記入は 127 名（1.0%）であった。

回答者（延べ人数）の性別は、男性 4,042 名（32.0%）、女性 8,387 名（66.4%）、無記入 199 名（1.6%）であった。

2. 授業評価の結果

授業アンケートの項目は、「自分の授業への姿勢について」、「授業内容について」、「教員について」、「授業環境について」および本年度より新たに加えられた「日本大学共通項目」の各領域に大別され、そのほかに個々の教員が任意に設定できる「教員オプション質問」、さらに学生が「授業に対する意見・希望」を述べられる自由記述欄が設けられた。以下では、各領域・種別ごとに分析結果を略述する。

分析に際して、「強くそう思う」・「そう思う」・「どちらとも言えない」・「そう思わない」・「全くそう思わない」の五者択一の項目に関しては、肯定的回答をした<そう思う>群（「強くそう思う」＋「そう思う」）と、否定的回答をした<そう思わない>群（「そう思わない」＋「全くそう思わない」）に注目して、構成比の百分率をみた。これについては、項目 14「この授業科目に関し、授業時間外（授業終了直後を含む）に、担当教員に対し質問等をしましたか」を除く全項目で、肯定的回答（<そう思う>群）が否定的回答（<そう思わない>群）を上回っていたことを予め述べておきたい。

集計結果の詳細については、後掲の総合集計表を参照していただきたい。

(1) 自分の授業への姿勢について（項目 1）

項目 1「私は、この授業にきちんと出席しました」については、<そう思う>群 86.0%、<そう思わない>群 2.4%）であった。学生は授業にはある程度きちんと出席していると自己認識していることが読み取れる。

(2) 授業内容について（項目 2～7）

この領域では全項目で肯定的回答が圧倒的に多いが、なかでも肯定的回答が最も多かったものは、項目 5「この授業から、新しい知識・考え方・発想を学ぶことができました」（<そう思う>群 89.2%、<そう思わない>群 2.5%）である。一方、否定的回答が比較的多い項目としては、項目 6「この授業内容と関連することを、さらに学習したいと思いました」（<そう思わない>群 5.0%、<そう思う>群 80.7%）が挙げられる。なお、項目 3「この授業の教科書・参考書・配布資料・プリント・プレゼン内容は、適切でした」については 9.1%が「無記入又

は該当なし」に分類されているが、この項目は「該当する内容が無かった場合は回答不要」と質問項目に付記されている項目であるため、該当する内容がなかった場合に無記入であったものと推測される。

(3) 教員について (項目 8・9)

この領域においても肯定的回答が圧倒的であった。例えば、項目 9「この授業の教員は、十分な準備をして臨んでいました」については<そう思う>群 90.7%、<そう思わない>群 1.9%であった。

(4) 授業環境について (項目 10～13)

この領域でも肯定的回答が圧倒的に多いが、なかでも肯定的回答が最も多かったものは、項目 11「この授業の休講の数は、少なかった」(<そう思う>群 91.2%、<そう思わない>群 2.4%)である。一方、項目 12「この授業の板書の文字は、読みやすかった」に関しては<そう思わない>群 6.7%、<そう思う>群 78.4%となっており、項目 1～13のうちでは否定的回答の割合が最も高い。これより、板書の読みやすさに関して不満を持っている学生が一定程度存在していることが読み取れる。また、項目 13「この授業で使用された OHP・ビデオ・プレゼンなどは、見やすかった」については 22.4%が「無記入又は該当なし」、項目 12 (板書の文字の読みやすさ) については 21.4%が「無記入又は該当なし」に分類されているが、これらは質問項目に「該当する内容が無かった場合は回答不要」と付記されている項目であるため、該当する内容がなかった場合に無記入であったものと推測される。

(5) 日本大学共通項目 (項目 14～19)

この領域は本年度より新たに設定されたものであるが、他領域に比して否定的回答の割合が高いことが特徴である。まず項目 14「この授業科目に関し、授業時間外 (授業終了直後を含む) に、担当教員に対し質問等を行いましたか」は<そう思わない>群 42.9%、<そう思う>群 36.0%となっており、唯一否定的回答が肯定的回答を上回っている。また項目 15「この授業科目に関し、授業時間外に、学生間で共に学修しましたか」については、肯定的回答が否定的回答を上回っているものの、<そう思わない>群 34.4%、<そう思う>群 42.9%となっており、否定的回答が比較的の高い割合を占めている。

この領域では、回答が<そう思う>群と<そう思わない>群とに還元されない質問項目も含まれている。項目 18「この授業科目を 1 週 (回) 受けるに当たり、授業時間以外で学修 (予習、復習、課題等) にどのくらい取り組みましたか」については、「取り組んでいない」が 33.5%で最も多く、次いで「1 時間未満」が 26.6%となっている。また、項目 19「この授業科目を受取るに当たり、図書館をどのような目的で利用しましたか (複数回答可)」については、61.6%が「全く利用していない」、14.5%が「文献資料を閲覧・借りた」と回答している。これらより、授業外での学修にかかる時間やその方法に関して、大きな課題のあることが推測される。

(6) 教員オプション質問 (項目 20～25)

教員オプション質問は、希望する教員が任意に設定した項目であるため、全体的傾向を示すことはできないが、担当教員に回答結果をフィードバックして授業改善に役立てられるようにした。質問の内容を例示的に列挙すれば、コミュニケーション力は身についたか、この授業は学生の興味を引き出す内容になっていたか、この授業は自分の表現活動に影響を与えていくと思うか、教科書があれば購入したいか、などを問うものが挙げられる。

3. コメント

本年度より新たに日本大学共通項目が導入されたことに伴い、質問項目の内容・配列が再編された。これにより、従来の調査結果に見ることのできなかつた傾向も表れている。前年度との異同を含めて、以下に略述する。

まず、前年度までの質問項目を踏襲した四つの領域「自分の授業への姿勢について」(項目1)、「授業内容について」(項目2~7)、「教員について」(項目8・9)、「授業環境について」(項目10~13)(ただし4領域とも前年度に比べて質問項目数は精選されている)については、概ね前年度と同様の傾向を示している。すなわち、項目1~13の全項目において<そう思う>群が<そう思わない>群を上回っており、かつ、項目1(授業への出席)を除く項目2~13においては全項目で回答者の度数分布がより肯定的な回答の方に偏りをみせている(「そう思う」>「ややそう思う」>「どちらともいえない」>「あまりそう思わない」>「そう思わない」)。このことから、全般的傾向として学生たちが授業に対してかなり肯定的な評価をしていることが読み取れる。

一方、本年度より導入された日本大学共通項目(項目14~19)からは、授業時間外における学修に関わる課題も読み取ることができる。まず、項目14(授業時間外(授業終了直後を含む)での教員への質問)では、唯一否定的回答が肯定的回答を上回っており(<そう思わない>群42.9%、<そう思う>群36.0%)、学生は授業に関して質問をしない傾向が表れている。また、項目18(授業時間外での学修時間)については、「1時間以上」が28.6%、「1時間未満」が71.4%(無記入を除外した再集計結果)となっているほか、項目19(図書館利用)については61.6%が「全く利用していない」と回答している。これらの結果から浮かび上がるのは、授業には出席するが、授業外での学修時間は短く(もしくは皆無であり)、図書館の利用についても消極的である学生たちの姿である。その要因としては、アルバイト等による学生の多忙なども想像されるが、教員の授業づくりの観点からいえば、予習・復習の指示や、授業に関するレポート課題の出題のほか、何より学生が主体的に学ぼうとする意欲を刺激するような授業内容づくりが、授業外での学修活動を活性化させる可能性があるものと考えられる。

2015年度 学生による授業アンケート(前期:2015年6月調査、後期:2015年12月調査) 総合集計表

所属学科		百分率(%)																	
写真	映画	美術	音楽	文芸	演劇	放送	デザイン	無記入	計	写真	映画	美術	音楽	文芸	演劇	放送	デザイン	無記入	計
1203	2113	911	1949	1363	1704	1772	1550	63	12628	9.5	16.7	7.2	15.4	10.8	13.5	14.0	12.3	0.5	100.0
学年		百分率(%)																	
1年生	2年生	3年生	4年生	無記入	計	1年生	2年生	3年生	4年生	無記入	計								
4305	3141	3681	1374	127	12628	34.1	24.9	29.1	10.9	1.0	100.0								
性別		百分率(%)																	
男性	女性	無記入	計	男性	女性	無記入	計												
4042	8387	199	12628	32.0	66.4	1.6	100.0												

実数(人)	百分率(%)					百分率(%)					再集計(2015年度調査)					参考:2014年度調査集計						
	そう思う	やや	どちらとも	あまり	計	そう思う	やや	どちらとも	あまり	計	思う	思わない	平均得点	思う	思わない	平均得点						
5125	5517	1442	263	31	250	12628	40.6	43.7	11.4	2.1	0.2	2.0	100.0	86.0	2.4	4.25	86.5	3.0	4.31			
5125	5517	1442	263	31	250	12628	40.6	43.7	11.4	2.1	0.2	2.0	100.0	86.0	2.4	4.25	86.5	3.0	4.31			
5655	4875	1502	391	104	101	12628	44.8	38.6	11.9	3.1	0.8	0.8	100.0	84.1	4.0	4.24	82.9	5.4	4.28			
5609	4460	1150	190	71	1148	12628	44.4	35.3	9.1	1.5	0.6	9.1	100.0	87.7	2.3	4.34	84.2	3.7	4.35			
5676	4914	1815	106	42	75	12628	44.9	38.9	14.4	0.8	0.7	0.6	100.0	84.4	1.2	4.28	81.1	1.7	4.32			
6983	4249	1049	221	90	36	12628	55.3	33.6	8.3	1.8	0.7	0.3	100.0	89.2	2.5	4.41	86.9	3.2	4.43			
5802	4363	1803	477	150	33	12628	45.9	34.6	14.3	3.8	1.2	0.3	100.0	80.7	5.0	4.21	80.4	5.5	4.24			
6630	4435	1149	258	110	46	12628	52.5	35.1	9.1	2.0	0.9	0.4	100.0	87.9	2.9	4.37	86.5	3.6	4.41			
36355	27286	8468	1643	567	1439	75768	48.0	36.0	11.2	2.2	0.7	1.9	100.0	85.6	3.0	4.31	83.7	3.8	4.34			
7351	4018	974	170	93	22	12628	58.2	31.8	7.7	1.3	0.7	0.2	100.0	90.7	2.1	4.46	88.2	2.9	4.47			
7503	3925	933	162	71	34	12628	59.4	31.1	7.4	1.3	0.6	0.3	100.0	90.7	1.9	4.48	90.3	1.9	4.53			
14854	7943	1907	332	164	56	25256	58.8	31.4	7.6	1.3	0.6	0.2	100.0	90.5	2.0	4.47	89.3	2.4	4.50			
7592	3789	917	239	82	19	12628	60.1	29.8	7.3	1.9	0.7	0.2	100.0	91.2	2.4	4.55	90.1	2.6	4.59			
8463	3005	811	215	89	29	12628	61.2	23.8	6.4	1.7	0.7	0.2	100.0	78.4	6.7	4.15	77.9	6.7	4.23			
4515	3265	1474	483	184	2707	12628	35.8	25.9	11.7	3.8	1.5	21.4	100.0	88.0	2.7	4.39	85.2	3.0	4.44			
5346	3275	907	197	72	2831	12628	42.3	25.9	7.2	1.6	0.6	22.4	100.0	88.0	2.7	4.39	85.2	3.0	4.44			
25936	13314	4109	1134	437	5582	50512	51.3	26.4	8.1	2.2	0.9	11.1	100.0	87.4	3.5	4.41	85.9	3.7	4.46			
2307	2217	2651	1767	3615	71	12628	18.3	17.6	21.0	14.0	28.6	0.6	100.0	36.0	42.9	2.83						
2587	2797	2848	1676	2649	71	12628	20.5	22.1	22.6	13.3	21.0	0.6	100.0	42.9	34.4	3.08						
3656	3120	3192	869	1185	606	12628	29.0	24.7	25.3	6.9	9.4	4.8	100.0	56.4	17.1	3.60						
3237	3421	3572	849	1047	502	12628	25.6	27.1	28.3	6.7	8.3	4.0	100.0	54.9	15.6	3.57						
11787	11555	12263	5161	8496	1250	50512	23.3	22.9	24.3	10.2	16.8	2.5	100.0	47.4	27.7	3.26						
3時間以上	2~3時間	1~2時間	1時間未満	取り組んでいない	無記入	計	3時間以上	2~3時間	1~2時間	1時間未満	取り組んでいない	無記入	計	1時間以上	1時間未満	平均時間						
863	580	1594	3355	4225	2011	12628	(3.5H)	(2.5H)	(1.5H)	(0.5H)	(0.0H)	6.8	4.6	12.6	26.6	33.5	15.9	100.0	28.6	71.4	0.48	
1826	888	62	119	7773	2202	12628	14.5	7.0	0.5	0.9	61.6	17.4	100.0									

実数(人)	百分率(%)					百分率(%)					再集計(2015年度調査)					参考:2014年度調査集計				
そう思う	やや	どちらとも	あまり	計	そう思う	やや	どちらとも	あまり	計	思う	思わない	平均得点	思う	思わない	平均得点					
5125	5517	1442	263	31	250	12628	40.6	43.7	11.4	2.1	0.2	2.0	100.0	86.0	2.4	4.25	86.5	3.0	4.31	
5125	5517	1442	263	31	250	12628	40.6	43.7	11.4	2.1	0.2	2.0	100.0	86.0	2.4	4.25	86.5	3.0	4.31	
5655	4875	1502	391	104	101	12628	44.8	38.6	11.9	3.1	0.8	0.8	100.0	84.1	4.0	4.24	82.9	5.4	4.28	
5609	4460	1150	190	71	1148	12628	44.4	35.3	9.1	1.5	0.6	9.1	100.0	87.7	2.3	4.34	84.2	3.7	4.35	
5676	4914	1815	106	42	75	12628	44.9	38.9	14.4	0.8	0.7	0.6	100.0	84.4	1.2	4.28	81.1	1.7	4.32	
6983	4249	1049	221	90	36	12628	55.3	33.6	8.3	1.8	0.7	0.3	100.0	89.2	2.5	4.41	86.9	3.2	4.43	
5802	4363	1803	477	150	33	12628	45.9	34.6	14.3	3.8	1.2	0.3	100.0	80.7	5.0	4.21	80.4	5.5	4.24	
6630	4435	1149	258	110	46	12628	52.5	35.1	9.1	2.0	0.9	0.4	100.0	87.9	2.9	4.37	86.5	3.6	4.41	
36355	27286	8468	1643	567	1439	75768	48.0	36.0	11.2	2.2	0.7	1.9	100.0	85.6	3.0	4.31	83.7	3.8	4.34	
7351	4018	974	170	93	22	12628	58.2	31.8	7.7	1.3	0.7	0.2	100.0	90.7	2.1	4.46	88.2	2.9	4.47	
7503	3925	933	162	71	34	12628	59.4	31.1	7.4	1.3	0.6	0.3	100.0	90.7	1.9	4.48	90.3	1.9	4.53	
14854	7943	1907	332	164	56	25256	58.8	31.4	7.6	1.3	0.6	0.2	100.0	90.5	2.0	4.47	89.3	2.4	4.50	
7592	3789	917	239	82	19	12628	60.1	29.8	7.3	1.9	0.7	0.2	100.0	91.2	2.4	4.55	90.1	2.6	4.59	
8463	3005	811	215	89	29	12628	61.2	23.8	6.4	1.7	0.7	0.2	100.0	78.4	6.7	4.15	77.9	6.7	4.23	
4515	3265	1474	483	184	2707	12628	35.8	25.9	11.7	3.8	1.5	21.4	100.0	88.0	2.7	4.39	85.2	3.0	4.44	
5346	3275	907	197	72	2831	12628	42.3	25.9	7.2	1.6	0.6	22.4	100.0	88.0	2.7	4.39	85.2	3.0	4.44	
25936	13314	4109	1134	437	5582	50512	51.3	26.4	8.1	2.2	0.9	11.1	100.0	87.4	3.5	4.41	85.9	3.7	4.46	
2307	2217	2651	1767	3615	71	12628	18.3	17.6	21.0	14.0	28.6	0.6	100.0	36.0	42.9	2.83				
2587	2797	2848	1676	2649	71	12628	20.5	22.1	22.6	13.3	21.0	0.6	100.0	42.9	34.4	3.08				
3656	3120	3192	869	1185	606	12628	29.0	24.7	25.3	6.9	9.4	4.8	100.0	56.4	17.1	3.60				
3237	3421	3572	849	1047	502	12628	25.6	27.1	28.3	6.7	8.3	4.0	100.0	54.9	15.6	3.57				
11787	11555	12263	5161	8496	1250	50512	23.3	22.9	24.3	10.2	16.8	2.5	100.0	47.4	27.7	3.26				

注1: 再集計欄の「平均」は「そう思う」(4点)、「思わない」(1点)、「どちらとも」(2点)、「あまり」(3点)、「無記入」(該当なし)の人数で除した%で、時系列比較に際しては数値に換算したものです。
 注2: 再集計欄の「平均」は、「そう思う」(4点)、「思わない」(1点)、「どちらとも」(2点)、「あまり」(3点)、「無記入」(該当なし)の人数で除した%で、時系列比較に際しては数値に換算したものです。

Ⅲ FD委員会活動記録および参考資料

平成 27 年

4 月 9 日 (木)

第 1 回教授会に『学生による授業評価報告書-平成 26 年度-』を提出
野田慶人FD委員会委員長から資料の集計結果について報告があり、平成 27 年度も引き続き専任教員と非常勤講師の全員を対象として実施したい旨の発言があった。

5 月 7 日 (木)

第 1 回FD委員会

1. 学生による授業評価アンケートの件

例年通り、前期と後期に授業評価アンケートを実施する。

学生による授業評価アンケートに係る調査項目等に、日大全学的な統一項目 (5 項目) を入れて 19 項目とし、オプション項目 6 項目の合計 25 項目で実施する旨が決定する。また、実施期間の検討が行われた。

5 月 7 日 (木)

第 3 回教授会において、野田慶人FD委員会委員長がFD活動の意義等について説明し、第 1 回FD委員会で審議した「平成 27 年度学生による授業評価アンケート」の実施についての協力依頼を行った。この後、川上中央学務担当 (FD委員会委員) が資料に基づき実施要綱等について説明した。

6 月 29 日 (月)～7 月 4 日 (土)

「学生による授業評価」前期終了科目のアンケートを実施

9 月～10 月

前期終了科目のアンケート用紙のうち、自由記述欄に記入のある用紙のコピーと集計結果を各教員に配布。

12 月 3 日 (木)～12 月 9 日 (水) の 6 日間 (日曜日は除く)

「学生による授業評価」通年科目および後期科目のアンケートを実施

平成 28 年

1 月

通年科目および後期科目のアンケート用紙のうち、自由記述欄に記入のある用紙のコピーと集計結果を各教員に配布。

1 月～2 月

全アンケート用紙の集計

3 月

集計結果報告書の作成

4 月

『学生による授業評価報告書-平成 27 年度-』を初回教授会（4 月 7 日）で配布予定。

『学生による授業評価報告書-平成 27 年度-』を芸術学部ホームページに掲載予定。

学生による授業アンケート

曜日	月	火	水	木	金	土	曜外
時限	①	②	③	④	⑤	⑥	曜外
担当教員名							
授業科目名							
所属学科	<input type="radio"/> 写真	<input type="radio"/> 映画	<input type="radio"/> 美術	<input type="radio"/> 音楽	<input type="radio"/> 文芸	<input type="radio"/> 演劇	<input type="radio"/> 放送
	<input type="radio"/> デザイン						
学年	①	②	③	④			
性別	男	女					

担当教員コード				授業科目コード			
①	①	①	①	①	①	①	①
②	②	②	②	②	②	②	②
③	③	③	③	③	③	③	③
④	④	④	④	④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨
⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩

このアンケートは、あなたが受講している授業を充実・改善するための資料とします。
 あなたの成績評価には関係がありませんので、素直に、まじめにお答えください。
 以下の項目のそれぞれに、あなたの意見に近い番号（1～5）にマークをしてください。

1	2	3	4	5
強くそう思う	そう思う	言えない どちらとも	そう思わない	全く そう思わない

<自分の授業への姿勢について>

1 私は、この授業にきちんと出席しました（100%-1/80%-2/60%-3/40%-4/20%-5 を目安に）	①	②	③	④	⑤
---	---	---	---	---	---

<授業内容について>

2 この授業は、わかりやすかった	①	②	③	④	⑤
3 この授業の教科書・参考書・配布資料・プリント・プレゼン内容は、適切でした [該当する内容が無かった場合は回答不要]	①	②	③	④	⑤
4 この授業は、シラバスに沿って進められていました	①	②	③	④	⑤
5 この授業から、新しい知識・考え方・発想を学ぶことができました	①	②	③	④	⑤
6 この授業内容と関連することを、さらに学習したいと思いました	①	②	③	④	⑤
7 この授業内容は、総合的に評価して良い授業でした	①	②	③	④	⑤

<教員について>

8 この授業を通して、教員の熱意を感じました	①	②	③	④	⑤
9 この授業の教員は、十分な準備をして臨んでいました	①	②	③	④	⑤

<授業環境について>

10 この授業の開始時間・終了時間は、適切でした	①	②	③	④	⑤
11 この授業の休講の数は、少なかった	①	②	③	④	⑤
12 この授業の板書の文字は、読みやすかった [該当する内容が無かった場合は回答不要]	①	②	③	④	⑤
13 この授業で使用されたOHP・ビデオ・プレゼンなどは、見やすかった [該当する内容が無かった場合は回答不要]	①	②	③	④	⑤

<日本大学共通項目>

14 この授業科目に関し、授業時間外（授業終了直後を含む）に、担当教員に対し質問等をしましたか	①	②	③	④	⑤
15 この授業科目に関し、授業時間外に、学生間で共に学修しましたか	①	②	③	④	⑤
16 課題（レポート、小テスト等）に対し、担当教員から学生へのフィードバック（評価や講評等の開示）はありましたか	①	②	③	④	⑤
17 授業時間外の学修（内容、方法等）について、担当教員から具体的（シラバスに明記を含む）に示されましたか	①	②	③	④	⑤
18 この授業科目を1週（回）受けるに当たり、授業時間以外で学修（予習、復習、課題等）にどのくらい取り組みましたか ① 3時間以上 ② 2～3時間 ③ 1～2時間 ④ 1時間未満 ⑤ 取り組んでいない					
19 この授業科目を受けるに当たり、図書館をどのような目的で利用しましたか（複数回答可） ① 文献資料を閲覧・借りた ② 予習・復習をした ③ レファレンスサービスを利用した ④ 相互利用（他学部・他大学からの取り寄せ）を利用した ⑤ 全く利用していない					

<教員オプション質問（教員からの指示にしたがってください）>

20	①	②	③	④	⑤
21	①	②	③	④	⑤
22	①	②	③	④	⑤
23	①	②	③	④	⑤
24	①	②	③	④	⑤
25	①	②	③	④	⑤

以上の項目以外で、この授業に対する意見・希望があれば書いてください。

平成27年度

学生による授業評価報告書

発行日 平成28年3月31日

編集 日本大学芸術学部FD委員会

発行 日本大学芸術学部